

研究課題名：

診療・検査データを利用した新型コロナワクチンの有効性評価

研究の目的と方法：

2019年12月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。2021年には複数の新型コロナワクチンが国内でも導入され、これらのワクチンは様々な研究において、高い発症予防効果を示しており、諸外国における初期の観察研究からは高い重症化予防効果が認められました。しかし、ワクチン効果に影響を与えうる変異株が複数見つかかり、ワクチン効果の減衰も懸念されています。そこで、本研究では、複数の民間検査会社や医療機関・社会福祉施設・自治体等の診療データ等を利用して、新型コロナワクチンの有効性を検討します。本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有用な知見をもたらす可能性があり、社会的意義は非常に大きいと考えます。なお、本研究でいただいた情報を用いて個人を特定することはありません。また、研究の成果が学会や専門誌、報告書などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2020年1月以降、2025年3月31日の研究終了までに各検査会社で実施する新型コロナウイルスの検査を実施された方。

研究に利用する試料・情報：

民間検査会社や医療機関・社会福祉施設・自治体等が保有する情報（年齢、性別、新型コロナウイルスの検査結果、ワクチン接種歴等）。国立感染症研究所には個人が特定されないように匿名化された情報が送られ、解析されます。

情報を利用する検査会社：

株式会社エスアールエル  
株式会社 LSI メディエンス  
株式会社ビー・エム・エル  
株式会社ナチュラリ 東京 PCR 衛生検査所  
株式会社マイクロスカイラボ  
株式会社みらい

研究全体の管理責任者：

国立感染症研究所 感染症疫学センター 鈴木 基

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1  
国立感染症研究所  
新城 雄士  
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189